

V-176

題 目 塑 性 変 形 挙 動 を 示 す
ス ポ ー ツ 床 に 関 す る 研 究
～天 然 芝 特 性 に 近 似 し た
砂 入 り 人 工 芝 の 開 発～

住 友 ゴ ム 工 業 (株) 正 水 本 善 久

(本文)

1. 緒論

天然芝などの天然スポーツ床は、人工スポーツ床全盛の今日も、フローヤの評価が高い。天然スポーツ床の特徴は、床面が弾性変形挙動を示すだけでなく破壊等を伴う塑性変形挙動を示すことである。つまり、床面の塑性変形挙動は、フローヤに影響を及ぼす大きな要因であると考えられる。そこで本研究では、スポーツ床の塑性変形挙動に関する種々の考察を行った。対象としては、人工スポーツ床の中でも、天然スポーツ床と同様に著しく塑性変形挙動を示すと考えられる砂入り人工芝を選定した。

さらに、前記考察を基に砂入り人工芝を天然芝の特性に近づける試みを行った。

2. 検討対象と試験方法

検討対象である砂入り人工芝は、砂の流動により床面がマクロに塑性変形挙動を示す。この挙動を検証するために砂のない人工芝と砂入り人工芝を比較した。尚、試験は図1に示すとおりで、人間の歩行に匹敵する垂直荷重を両者に与えてを行い、2の結果を得た。図2より、砂入り人工芝はヒステリシスロスが大きいことから、塑性変形挙動を著しく示していることが推測できる。

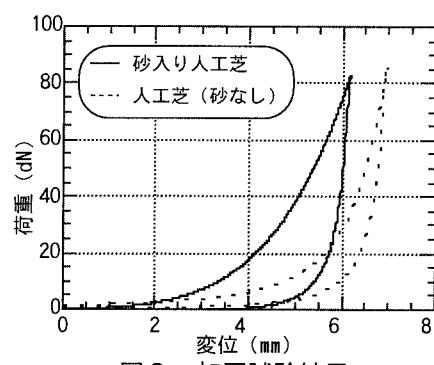
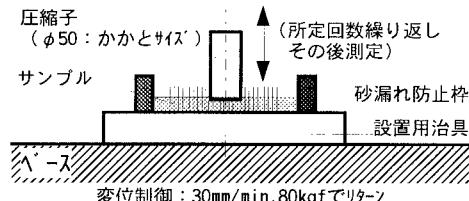


図2 加圧試験結果

キーワード：塑性変形挙動、砂入り人工芝、エネルギー吸収、天然芝、弹性層

連絡先：神戸市中央区筒井町2-1-1

電話 078-265-5672 FAX 078-265-5685

3. 評価パラメータ

ヒステリシスロスで砂入り人工芝の砂の流動性が示せた。また、床面の弹性特性は人間の体重付加時のばね定数であると考えられる。以上より、表1のように評価パラメータを設定した。

4. 床構造による比較

各種スホーツ床構造に関する同様の検討を行った結果を図3に示す。図3より、構造の相違により、ばね定数及びエネルギー吸収が異なることが確認できる。

5. 評価パラメータを利用した設計
表1のパラメータを利用することにより、好みいスホーツ床設計を行う一例として、砂入り人工芝を天然芝に近づける試みをした。図3より、弹性層を砂入り人工芝の一部に採用すると天然芝に近いばね定数が得られることが確認できた。そこで、次のような仮定を行つた。

「仮定：弹性層を砂層の最近傍に配置して砂をタブレクトに流動させること」

この思想を基に図4のような構造体を作製し、試験を行つた結果、ばね定数 = 6.6 dN/mm エネルギー吸収 = 0.65 で、天然芝に近い評価パラメータ値を得ることができた。

6. 結論

- ①著しい塑性変形挙動は、エネルギー吸収で表現できた。
- ②ばね定数及びエネルギー吸収でスホーツ床の特性及び構造の相違が示せた。
- ③弹性層を砂層の最近傍に配置することにより、砂入り人工芝を天然芝に近づけることができた。

表1 評価パラメータ

前提：人間の体重がかかとにかかったと仮定

評価パラメータ	内容
ばね定数	60dN加圧時の変位／荷重曲線の傾き（弹性変形挙動を示す）
エネルギー吸収	ヒステリシスロスを入力エネルギーで除した値（主に塑性変形挙動を示す）

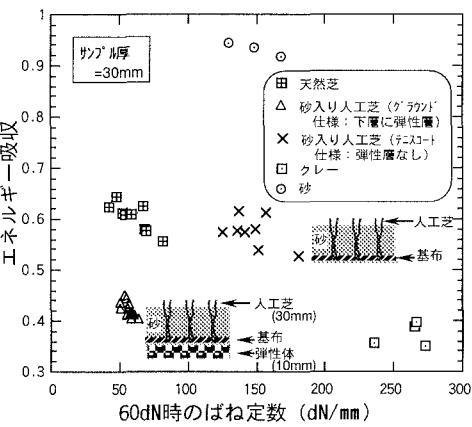
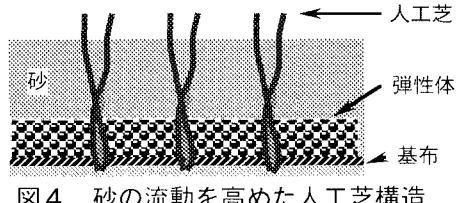


図3 ばね定数とエネルギー吸収の関係

図4 砂の流動を高めた人工芝構造
(砂層直下に弾性層を配置した構造)